

平成16年度 秋期 アプリケーションエンジニア 午後 解答例

この解答例は、独立行政法人 情報処理推進機構 情報処理技術者試験センターが公表しているものです。著作権は、同センターにありますので、その点ご注意ください。

問1 〔出題趣旨〕

大規模システムの開発では、システム全体を一斉に開発したり、関係部門へ一斉に導入したりすると大きなリスクを負う場合がある。このようなシステム開発では、機能・性能・環境・運用などの面から本開発での課題を想定し、パイロット開発による評価を行ってから本開発に進む方法がある。

本問は、本開発を行うに当たって、どのような課題を設定し、その課題解決のためにどのようなパイロット開発を計画したか、パイロット開発による評価を確実にを行うためにどのような工夫をしたか、具体的に論述することを求めている。

本問では、論述を通じて、アプリケーションエンジニアに必要な分析・設計能力や経験などを評価する。

問2 〔出題趣旨〕

営業支援システム、カスタマサポートシステム、販売管理システムなどのように、機能別に個別システムが開発され、開発時点の業務要件に基づいて連携されている場合には、事業環境の変化やビジネスのスピードアップに対応するために、これらのシステム間の連携を強化する場合がある。

本問は、システム間連携の強化に当たって、システム間の整合性、データの一貫性、パフォーマンスを確保するために、どのように分析し、どのようにシステム間連携を設計したか、具体的に論述することを求めている。

本問では、論述を通じて、アプリケーションエンジニアに必要な分析・設計能力や経験などを評価する。

問3 〔出題趣旨〕

インターネットを利用した電子商取引、インターネットバンキング、インターネットトレーディングなどのWebアプリケーションシステムでは、システム全体の信頼性や応答性を確保し、多くの人々にとって使いやすいユーザフレンドリなインタフェースを実現することが重要である。

本問は、このようなWebアプリケーションシステムの設計に際して、システムの用途、ユーザのニーズ、データ処理の特徴などの観点から、信頼性や応答性などの特性をどのように考慮してユーザインタフェースを設計し工夫したか、具体的に論述することを求めている。

本問では、論述を通じて、アプリケーションエンジニアに必要なWebアプリケーションシステムの設計に関する能力・経験などを評価する。

注：この解答例に関するメールでのご質問には、応じかねます。あしからずご了承ください。